



～地域とともにある学校をめざして～

鯀コミ

R5 CS通信No.2 R5.5.16



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

白神山地世界自然遺産登録 30 周年体験 学習(舞戸小学校・西海小学校 6 年生)



私たちが住む鯀ヶ沢町には、世界自然遺産白神山地があります。今年度は、世界自然遺産登録 30 周年を迎えることとなり、その存在を知り、白神山地がどういうものなのかを知るための体験学習が 4/20(木)にありました。

子どもたちは、白神山地ガイドの案内を受け、ブナの木に耳をつけて、水を吸い上げる音を聞いたり、クマの爪痕の残るブナの木を観察したりしました。そして、白神山地の価値を知り、魅力を感じることができました。終了後、子どもたちは、

「白神の森には、ブナの木がたくさん生え、たくさん動物が生息している。」

「自然は、生活に役立っているのだから、傷つけたり汚したりしないように気を付けたい。」
等と感想を話していました。

世界自然遺産白神山地に関する学習は、町教育委員会が進める「ふるさと学習」の 5 本の柱の一つであり、小学校 4 年生から中学校 1 年生までが、関連した授業を受けています。

小学生走り方教室



町教育委員会社会教育課スポーツ振興班の取り組みの一つで、普段の体育の授業とは別に、「走り方」の専門家である地域の方を講師に迎えた走り方教室が西海小と舞戸小であり、全児童が指導を受けました。

西海小学校 1・2 年生は、地域の陸上競技指導者である鎌田守先生から指導を受けました。

「まっすぐ動きましょう。速く腕を振りましょう。速く足を動かしましょう。」

とアドバイスを受けた子どもたちは、正しい動きで速く走ることを体感していました。

鎌田先生や鯀ヶ沢町陸上競技協会会員の他に中学校の体育教師原子先生も講師を務め、小中一貫教育としての取り組みともなりました。

中学校入学時に小学校とのギャップに悩む「中 1 ギャップ」への対策としても、町では今後、このような中学校の先生による小学生への指導などにも取り組んでいきます。

生活習慣病健診(鯀ヶ沢中学校 2・3 年生)



青森県が抱える「短命」という課題や町が抱える子どもの肥満や生活習慣病への若年層の罹患などの課題に、中学生のうちから取り組む事業である親子プロジェクトが始まりました。これは、地域の課題に取り組む事業の一つでもあります。

5 月 13 日(土)は、県立保健大学、鯀ヶ沢病院、町ほけん福祉課が協力して、健診を行いました。

結果については、7 月下旬の三者面談で、親子に個別に説明されます。また、10 月と 11 月には、2 年生対象の健康教育があり、一年を通して生活習慣病を予防します。